

スポーツ競技の普及とスポーツマンガの相関関係に関する研究  
～有名スポーツマンガがもたらす影響力に着目して～

A study about the correlation of increasing of sports population and popularity of sport's manga.  
Concentrating on the influence of famous sport's manga

1K06B511-2

指導教員 主査 原田宗彦 先生

林 信吾

副査 寒川恒夫 先生

【目的】

本研究の目的は、各スポーツ競技の普及とスポーツマンガの相関関係について明らかにしていくことである。

【方法】

文献調査とインタビュー調査の2種類の調査を通じて、各スポーツ競技の普及とスポーツマンガの相関関係について明らかにしていった。文献調査では、各スポーツ競技の関係者談を含め、各スポーツ競技の公式サイトで開示されている競技人口の推移と、各競技における有名スポーツマンガの連載時期、発行部数の推移を照らし合わせ、相関関係を探った。

また、インタビュー調査では、各競技団体、協会の担当者合計4名へインタビューを行った。各人にインタビューを行い、マンガがもたらす各スポーツ競技への影響、これまでに実施したマンガを活用した普及のための施策とその結果、またスポーツマンガに対しての意見などを探った。

【結果】

文献調査では、明らかに各競技人口の推移と、各競技の有名スポーツマンガには相関関係が見られた。また、各スポーツ競技の関係者談などからもその影響力が伺えた。特に囲碁においては、有名囲碁マンガである「ヒカルの碁」の影響力は非常に大きかったようだ。「ヒカルの碁」が連載開始されたのは1998年であるが、その後ヒットマンガとして認知され始めた2000年頃から、囲碁人口は急激に伸びていることが分かった。そして、連載終了後には囲碁人口が急激に下がっていることも分かった。(図4) このデータより、いかにマンガの影響力が大きいかが伺えた。一方で、インタビュー調査結果からは、マンガだけの影響で競技人口が増減するものではないこと。マンガはマンガ家と出版社主導で進められるものであるため、各競技協会、団体の方からすれば、入り込みづらい領域であること。さらには、どのマン

ガがヒット作品になるか分からないという不確実性から競技の普及のためにマンガを有効活用することは難しいということが分かった。

【考察】

インタビュー調査前の文献調査では明らかに各競技人口の推移と、各競技の有名スポーツマンガには相関関係があった。しかしながら、今回インタビュー調査をしたインタビューイー4名の回答にはズレが生じた。ある2名マンガの影響力は絶大で、競技人口の増加に大きく貢献したと答えた。一方で、ある2名はマンガの影響というよりも、TVでの試合中継の開始がより影響し、競技人口が増加したと答えた。確かに競技人口の増加にはTVの影響もあったに違いない。ただ、文献調査のデータ上では明らかに競技人口と有名スポーツマンガには相関関係があるため、マンガの影響力がなかったわけではなく、あくまで様々な要因が複合して、競技人口に影響したという方が正しいと考えられる。

また、マンガは若者受けするものであるが、今回のインタビューイーの4名は全て50歳以上の方々であった。この事実がマンガの影響力に対して大きな評価をしていない方も半数いたというインタビュー結果に影響を及ぼしたと考えられる。

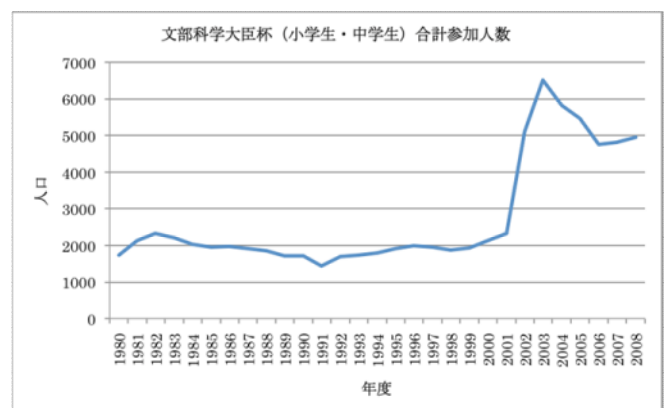


図4 文部科学大臣杯（小学生・中学生）合計参加人数

(注) 囲碁のポータルサイト日本棋院のデータを参考に筆者作成